

2010年度

科目名	中国語Ⅱ		
担当教員	石井 真美子		
配当	英語2・文財2	コード	12050
開期	通年	講時	月曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	中国語表現能力の向上		
目的と概要	中国語Ⅰで学習したことをふまえてさらに難易度の高い内容へと進み、中国語への理解を深め、やや複雑な表現ができるようにすることを目的とする。テキストは準中級用で、会話文・短文・練習問題から成り、簡単な表現から少しずつ複雑な表現へと進み、文法の知識・語彙を増やして理解力を養うと同時に聞き取り能力を高める。 平行してテキスト以外の資料も使い、中国の文化事情や生きた中国語に触れる機会を作る。		
成績評価法	各学期末の筆記試験(40%)＋課題(30%)＋授業中の発音・参加度(30%) 全授業数の三分の一以上欠席した場合は期末試験の受験資格を失う。 受講態度が悪い場合(私語など)は減点する。		
テキスト	『中国語への道－浅きより深きへー』(内田慶市・奥村佳代子・張軼欧著、金星堂出版)		
参考書	中日辞典、各自中国語Ⅰで使用した教科書・ノート その他、授業中に紹介する。また、随時資料を配布する。		
履修に 当たっての 注意・助言	中国語Ⅰの内容を学習した前提で授業を進めていくので、Ⅰの内容をよく復習しておくこと。 テキストは書き込めるようになっているが、新しい文法や多くの単語が出てくるのでノートや単語帳を作ってよく復習をすること。また授業外でも付属CDを使って中国語に慣れることが望ましい。		
講義計画			
[前期]			
1	発音の復習		
2・3	第1課 願望の助動詞／方向補語／連動文／変化を表わす		
4・5	第2課 可能の助動詞／逆説／兼語文／原因を表わす		
6・7	第3課 完了／強調／目的語の倒置／様態補語と比較		
8	復習		
9・10	第4課 受身／結果補語／仮定／未来の可能性		
11・12	第5課 不定の表現／慣用語①／状態の持続		
13・14	第6課 動詞の重ね／必然の助動詞／慣用語②		
15	前期まとめ		
[後期]			
16・17	第7課 疑問／比喩／疑問詞の呼応		
18・19	第8課 進行／慣用語③		
20・21	第9課 二重目的語をとることのできる動詞／連体修飾語／動作量		
22	復習		
23・24	第10課 可能補語／慣用語④		
25・26	第11課 百分率／慣用語⑤		
27	後期課題発表		
28・29	第12課 慣用語⑥／使役		
30	後期まとめ		